



龍田大社の南側正面。存在感のある鳥居が目を引く

三郷町立野南1で

風の神大祭に花火供え



(住所) 三郷町立野南1の29の1
 (祭神) 天御柱大神、国御柱大神
 (交通) JR三郷駅下車。徒歩約5分

(拝観) 境内自由
 (駐車場) 無料(50台)
 (電話) 0745・73・1138
 9〜17時

龍田大社 (三郷町)

龍田大社は三郷町の大和川右岸に鎮座し、近くには大和と河内を結んだ龍田古道も通ります。古くから「風の神様」として親しまれてきました。

社伝によると、創建は約2100年前、第十代崇神天皇にさかのぼります。国内に凶作や疫病が流行した中、天皇の夢に



現れた神様のお告げ通りに龍田の立野に宮を造営

本殿があります。

すると、疫病は退散し豊作になったとされます。

大社南側正面には大きな鳥居があり、拝殿まで見通せ、風が通り抜けるような開放感を感じます。正面に拜殿、祝詞殿、両脇には五つの摂社末社、そして祝詞殿の奥に

主祭神は本殿一殿に

天御柱大神、二殿に国御柱大神が祭られています。天と地の間、大気

・生気・風力を司り、天地宇宙の万物生成の中心となる「気」をお守りくださる力のある神様です。

「廣瀨の水神」と並び称され、「日本書紀」には

天武天皇が675年、現在の龍田大社、廣瀨大社(河合町)に国家安泰と

五穀豊穡を祈願したと記されています。毎年7月第1日曜には「風鎮大祭」が行われます。神様に火のごちそうである「風神花火」が供えられ、美しくも荘厳な雰囲気になります。(奈良まほろばソムリエの会員 石橋真理)

の会員 石橋真理)